はじめに

我が国では諸外国に例を見ない速さで少子高齢化が進行しており、65 歳以上の人が総人口に占める割合が 28%を超える「超高齢社会」の到来により、高齢者や障害者を含めたすべての人が安全で安心して、快適に生活できるまちづくりを実現することが急務となっております。

本市におきましては、平成 23 年（2011 年）に「姫路市バリアフリー基本構想」を策定し、バリアフリー化を推進してまいりましたが、策定から約 10 年が経過し、昨今の社会情勢や開発状況の変化に対応するため、基本構想の見直しを行い、このたび「ＪＲ姫路駅・山陽姫路駅周辺地区」、「ＪＲ英賀保駅周辺地区」、「ＪＲ網干駅周辺地区」、「山陽電鉄白浜の宮駅周辺地区」及び「山陽電鉄夢前川駅周辺地区」の５駅周辺を重点整備地区とした「姫路市バリアフリー基本構想」の改定版を策定しました。

今後、本基本構想に基づき、基本理念である「だれもが安全で安心して快適に移動できる　共生のまちづくり」の実現に向け、道路や建物などの物理的なバリアフリー化のみならず、心のバリアフリーの推進にも取り組んでまいります。

最後になりましたが、本基本構想の改定にあたり、熱心にご審議いただきました「姫路市バリアフリー基本構想検討懇談会」の皆さまをはじめ、現地調査等において貴重なご意見を頂きました「姫路市バリアフリー調査会議」の皆さま並びに関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

また、市民の皆さまをはじめ関係各位におかれましては、本基本構想の推進に向けて、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和４年（2022 年）３月

姫路市長　清元秀泰